

貸借対照表
(2020年3月31日現在)

株式会社バンダイナムコアミューズメントラボ

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	1,704	流 動 負 債	956
現金及び預金	532	買掛金	260
売掛金	492	未払金	104
仕掛品	597	未払消費税等	14
貯蔵品	4	未払事業所税	5
前渡金	1	未払法人税等	0
前払費用	22	未払費用	1
未収入金	53	前受金	305
		預り金	6
		賞与引当金	258
固 定 資 産	367	固 定 負 債	46
有形固定資産	33	退職給付引当金	46
建物	0		
機械及び装置	24	負 債 合 計	1,003
工具器具及び備品	9	(純資産の部)	
無形固定資産	158	株 主 資 本	1,069
ソフトウェア	158	資本金	10
		資本剰余金	851
投資その他の資産	175	その他資本剰余金	851
前払年金費用	42	利益剰余金	208
繰延税金資産	132	利益準備金	0
		その他利益剰余金	207
		繰越利益剰余金	207
		純 資 産 合 計	1,069
資 産 合 計	2,072	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,072

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産

仕掛品・・・・・・・・・・AM (アミューズメント) 機器及びゲームソフト制作にかかる仕掛品については個別法による原価法

貯蔵品・・・・・・・・・・最終仕入原価法

貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法（ただし、建物（附属設備を除く）については定額法）を採用しております。

<主な耐用年数>

建物・・・・・・・・・・18年

機械及び装置・・・・・・・・4年

工具器具及び備品・・・・・・・・4～5年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

<主な耐用年数>

自社利用のソフトウェア

研究開発用・・・3年

その他・・・5年

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、当事業年度末における年金資産の見込額が退職給付債務の見込額を超過している場合は、前払年金費用として貸借対照表に計上しております。

数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間による按分額をそれぞれ発生の翌事業年度より費用処理することとしております。

また、過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による按分額を費用処理することとしております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税及び地方消費税の会計処理方法

税抜方式を採用しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。